

# 2015年度 センター試験 本試験 英語リスニング

## 第1問

出題範囲	六つの対話問題
難易度	★★☆☆☆
所要時間	5分
傾向と対策	2015年度の第1問は、例年どおり対話に関する質問に答える問題である。さまざまな数字に関する要素が登場し、それに基づき少し計算をしなくてはならない問題もあった。多くの情報に押し潰されずに冷静に、まずは整理することが大事だ。また、問1や問6のような絵を用いた問題は、あらかじめ放送前にそれぞれの絵の特徴や違いを見分けておくと、解答するときに少しは余裕が生まれるかもしれない。

問1  正解は②

### 読み上げ文

W: Have you seen my T-shirt?

M: The one with the stars on it?

W: Yes, the little one is inside the big one.

M: It's over there.

### 読み上げ文訳

W: 私のTシャツ見た?

M: 星が描かれているやつ?

W: そう、小さい星が大きい星の中に入っているのよ。

M: あそこにあるよ。

### 問題文訳

女性が探しているTシャツはどれか?

### 解説

「The one with the stars on it?」のoneは、前の女性の発言を受けてT-shirtを指しており、itはthe oneつまりT-shirtを指す。また、「the little one is inside the big one」のoneは、ともに前の男性の発言を受けてstarを指している。これらのTシャツの描写から、Tシャツに描かれている図は小さい星が大きい星の中に入っていることがわかる。よって、女性が探しているTシャツは②となる。

### 補足

look for A 「Aを探す」

問 2 2 正解は①

## 読み上げ文

W : How long have you been living in Fukuoka?

M : Three years.

W : Where else have you lived in Japan?

M : Sendai and Nagoya for a year each, and Osaka for ten months.

## 読み上げ文訳

W : あなたは福岡にどれくらいの間住んでいましたか？

M : 3 年間です。

W : 日本ではほかにどこに住んでいましたか？

M : 仙台と名古屋に 1 年ずつ、そして大阪に 10 か月です。

## 問題文訳

男性はどの都市に最も長く住んでいたか？

## 解説

男性の発言から、福岡に 3 年間、仙台と名古屋に 1 年間ずつ、大阪に 10 か月の間住んでいたとわかるので、正解は①の Fukuoka である。

問 3 3 正解は④

## 読み上げ文

M : What happened? You're late.

W : There was a traffic jam, and it took twice as long as usual to get here.

M : How long does it usually take?

W : Twenty minutes.

## 読み上げ文訳

M : 何が起こったの？ 遅刻だよ。

W : 渋滞していて、ここに着くのに通常かかる時間の 2 倍も時間がかかったのよ。

M : いつもはどれくらいかかるの？

W : 20 分よ。

## 問題文訳

今日女性が仕事に来るのにどれくらい時間がかかったか？

## 解説

女性の 1 回目の発言で、今日女性はいつもの 2 倍の時間をかけて仕事に来たと言っており、2 回目の女性の発言でいつもは 20 分かかるとわかる。よって、今日は 20 分の 2 倍の 40 分かけて女性は仕事に来たことになるので、正解は④である。

**補足**

traffic jam 「渋滞」

問 4 4 正解は①

**読み上げ文**

W : We need to cancel tomorrow's hotel reservation.

M : Do we have to pay the full 100 dollars?

W : No, but they'll charge us 20%.

M : We're lucky. It's usually at least 50%.

**読み上げ文訳**

W : 明日のホテルの予約をキャンセルしなければならないの。

M : 100 ドル全部払わなければならないかな？

W : いいえ、しかしホテル側は私たちにホテル代の 20% を請求するわ。

M : 僕たちはラッキーだね。いつもは少なくとも 50% なんだ。

**問題文訳**

彼らのキャンセル料はいくらになるか？

**解説**

2 回目の女性の発言から、彼らに課されるのはホテル代の 20% のキャンセル料なので、①が正解である。④の 100% は、男性が最初に「full 100 dollars」を支払わなければならないのかと尋ねた部分に、②の 50% は男性の発言から通常ホテルが課すキャンセル料の部分に、③の 80% はキャンセルした場合に払わなくて済む料金にそれぞれ対応し、いずれも彼らに課される実際のキャンセル料ではないので不適當。

**補足**

charge 「請求する」

reservation 「予約」

cancellation charge 「キャンセル料」

問 5 5 正解は④

**読み上げ文**

W : Did the meeting start on time?

M : No, it was delayed an hour and a half.

W : What time was it supposed to start?

M : 1:30.

**読み上げ文訳**

W : 会議は時間通りに始まりましたか？

M: いいえ, 1 時間半遅れました。

W: 何時に始まる予定だったのですか?

M: 1 時 30 分です。

### 問題文訳

会議は何時に始まったか?

### 解説

「supposed to V」は「V をする予定である, V をすることになっている」の意味。また, delay は「遅らせる」「延期する」の意味。1 時 30 分に始まる予定だった会議が1 時間半遅れて始まったので, 会議の開始時間は④の3 時である。

問 6 6 正解は①

### 読み上げ文

M: How's that computer?

W: The USB ports are on the left, so the mouse cable's in my way.

M: Couldn't you put the cable in back?

W: No, it's too short.

### 読み上げ文訳

M: あのコンピューターはどう?

W: USB ポートが左側にあるから, マウスのケーブルが邪魔なの。

M: ケーブルを後ろに回すことはできないの?

W: だめよ, 短すぎるのよ。

### 問題文訳

女性が今使っているのはどのコンピューターか?

### 解説

1 回目の女性の発言から, マウスを差している USB ポートが左側にあることがわかり, この時点で①か②に絞られる。また, ケーブルが邪魔であること, ケーブルが短いために後ろの方に回すことができないなどの発言から, ①のコンピューターが最も確に描写されていると思われる。

(制作: 松永尚也, 日笠航希)

# 2015 年度 センター試験 本試験 英語リスニング

## 第2問

出題範囲	七つの対話とその話法
難易度	★★☆☆☆
所要時間	5分
傾向と対策	2015年度のリスニングの第2問は、例年どおり会話の最後が続くセリフを選ぶ問題であり、会話の流れに矛盾しない自然な選択肢を選ぶことがポイントである。そのためには最後に放送されたセリフだけでなく、会話全体の内容をざっくりとでもつかみたい。細かい内容が聞き取れなくとも、放送を聴きながら「この二人はこんな感じのことを話しているんだな」ということを意識できるよう練習しよう。問10に日本語ではあまり使われないホチキスの英名である stapler という単語が、和名のホッチキスと同時に登場するが、引っかけからずに着いて質問の意味を聞き取って解答しよう。

問7  正解は②

### 読み上げ文

M: Excuse me. We ordered our food 20 minutes ago, and it hasn't come yet.

W: I'm sorry. What did you order?

M: Steaks. Are they coming soon?

### 読み上げ文訳

M: すみません。私たちは20分前に料理を注文したのですが、まだ来ていないのです。

W: 申し訳ございません。何をご注文なさいましたか？

M: ステーキです。もうすぐ来ますか？

### 解答選択肢訳

- ① 今あなたの伝票を持って参ります。
- ② 今すぐ確認いたします。
- ③ あなたはステーキを注文することができます。
- ④ あなたは注文する必要がありません。

### 解説

最後の発言は男性が、自分が注文したステーキがもうすぐ来るのかどうかという質問で終わっている。それに対して女性が返すべき応答として最も自然なのは「注文を確認してきます」という趣旨の②である。①の check は bring A「Aを持ってくる」の形で使われているので名詞であり、会話の内容から二人はレストランにいると考えられるのでこの check は「伝票、領収書」の意味で捉えるのがよい。

## 補足

check 「伝票, 領収書」

order 「注文する」

問 8 8 正解は①

## 読み上げ文

M: What did you think of the movie?

W: Oh, it was all right. What about you?

M: I like anything with Johnny Depp in it.

## 読み上げ文訳

M: あの映画どうだった?

W: ああ, まあまあだったよ。あなたは?

M: 私は, その映画のジョニー・デップのあらゆるシーンが好きだよ。

## 解答選択肢訳

- ① 彼はあの映画の中では良かったね。
- ② 彼はじきに映画を見るでしょう。
- ③ 私は映画を見ません。
- ④ 私は今まで彼を映画の中で見たことはありません。

## 解説

「What did you think of A」は、「あなたは A をどう思ったか」あるいは「あなたは A をどう感じたか」という意味で、日常会話の中では「A はどうだったか」の意で使われる。最初の男性の発言から、二人は共に見たことがある、とある映画について語っていることがわかる。まず、女性は映画の感想について all right と言っている。(何かが) all right であるとは、それが素晴らしいとまではいかないが許容できる範囲であるという状態を表わし、この場合は映画に対しての感想なので、「まあまあである」という感じなのだろう。次に男性は感想を聞かれて、その映画のジョニー・デップのどんなシーンも好きだと言っている。ここから、二人が語り合っている映画にはジョニー・デップが出演していることがわかる。それに対して女性がどのような応答をするのが最適かを考えるのが、この小問の主題。

②→ He は直前の男性の発言を受けると、ジョニー・デップのことを指している。よって、ジョニー・デップが映画を見ることを突然話題に持ち出すのは不自然である。

③→映画の感想を語り合っている時点で私は映画を見ないという発言は不適切である。

④→今語り合っている映画の中にジョニー・デップが出演しているので、この発言も有り得ない。

よって、消去法で残る①が正解である。

問 9 9 正解は③

## 読み上げ文

W : My stomach is telling me it's lunchtime. Is that right?

M : No, it's only 10:30.

W : Oh, I'm already hungry.

## 読み上げ文訳

W : 私のお腹がもう昼食時間だって言っているわ。合ってる？

M : いや、まだ 10 時半だよ。

W : まあ、私もうお腹がぺこぺこよ。

## 解答選択肢訳

- ① もう昼食時間ではないの？
- ② もう昼食時間は過ぎたんじゃないの？
- ③ 今何か食べたらどう？
- ④ どうして今日は何も食べようとししないの？

## 解説

男性の発言から、男性自身は今が 10 時半であり昼食時間でないことがわかっているため、①と②の応答は不適切である。また、④は女性が今日は何も食べないという情報がどこにもないので不適切である。最後の女性の発言で、女性はまだ昼食時間でないにもかかわらずお腹が減っていることから、男性は③のように応答するのが最も適切である。

問 10 10 正解は③

## 読み上げ文

W : Did you know a stapler is called a "Hotchkiss" in Japan?

M : Really? Why?

W : I heard the name comes from a company that made staplers over 100 years ago.

## 読み上げ文訳

W : ステープラーが日本で「ホッチキス」と呼ばれているのを知ってた？

M : 本当に？ どうして？

W : その名前は、100 年以上前にステープラーを作っていた会社に由来しているっていうことを聞いたことがあるよ。

## 解答選択肢訳

- ① 私も本当にそうだと思うよ。
- ② それはお気の毒に。
- ③ それは面白いね。

④ 親切ですね。

**解説**

①→男性はホッチキスの名前の由来を知らないはずなので不適切。

④→直前で女性が名前の由来を聞いたことがあるという発言に対しては不自然である。

②は、男性がホッチキスの名前の由来を聞いて気の毒に感じる可能性は完全には否定できないが、③の方がより会話として自然であるため、正解は③である。

**補足**

stapler 「ホッチキス」

問 11 11 正解は③

**読み上げ文**

M : Ms. Williams, are we going to discuss our projects today?

W : Yes. So please make groups of five, everyone.

M : But, um ... there are 31 students here today.

**読み上げ文訳**

M : ウィリアムズ先生、今日は私たちのプロジェクトについて話し合うのですか？

W : はいそうです。だから、みなさん、5人のグループを作ってください。

M : しかし、えっと…今日は31人の学生がいるのですが。

**解答選択肢訳**

① わかった、それならグループプロジェクトをやしましょう。

② わかった、それなら30人の学生にしましょう。

③ わかった、それなら6人のグループを一つ作りましょう。

④ わかった、それなら話し合いを始めましょう。

**解説**

①→会話の内容から、もともとグループプロジェクトをやるつもりだったのでここで改めて言うのは不自然である。

②→学生を一人消してしまうという恐ろしい意味になるので、常識的に考えられない。

④→学生の発言を無視したものとなるので不適切である。

よって、1つだけ6人グループを作ることで31人という人数に対して解決策を与えている③が正解である。

**補足**

group of A 「A人のグループ」

問 12 12 正解は①

## 読み上げ文

W : Excuse me, could you tell me where I can find women's suits?

M : Yes. Go to the business wear section on the third floor.

W : Thanks. Now I need to find the escalator.

## 読み上げ文訳

W : すみません、女性のスーツを売っている所はどこですか？

M : はい。3階にあるビジネスウェアのコーナーにあります。

W : ありがとうございます。それではエスカレーターを見つけなければなりませんね。

## 解答選択肢訳

- ① まっすぐ進んだところにあります、
- ② それらは3階にあります。
- ③ 私たちはそれを見つけることができません。
- ④ どういたしまして。

## 解説

「could you tell me where I can find women's suits」を直訳すると、「私がどこで女性のスーツを見つけることができるか教えてくださいませんか」となり、口語的には「どこで売っているか」あたりがよいだろう。最後の女性の発言でエスカレーターを探さなければならない、つまり間接的にエスカレーターの場所がわからないことを示しているの、直後の男性の応答としては、エスカレーターのある場所を具体的に示している①が適切だ。

問 13 13 正解は②

## 読み上げ文

M : Did you hear that the art museum is reopening next month?

W : Yes, I did! Do you want to check it out?

M : Sure. I want to see the new Picasso exhibit.

## 読み上げ文訳

M : 美術館が来月に再開すること聞いた？

W : うん、聞いたよ！ 見てみたい？

M : もちろん。新しいピカソの展示を見てみたいね。

## 解答選択肢訳

- ① 無理だわ。明日忙しいの。
- ② 私もよ。彼の作品が大好きなの。
- ③ 来週に行きたいわ。
- ④ あまり芸術には興味ないわ。

**解説**

- ①→明日美術館に行こうという誘いを受けているわけではなく、また、美術館の再開は来月なので不適切。
- ③→「would prefer to」は他の選択がある前提で「こっちの方がいい」という使い方をするが、この会話の中で美術館に行く具体的な日程の候補が示されてはいない。また、美術館の再開は来月であり不適切。
- ④→一見当てはまりそうだが、男性から美術館の再開の話題を振られたときに、「Yes, I did!」や「Do you want to check it out?」など、その話題に乗っており、口調からもある程度の美術館に対する関心が伺えるので、「芸術に興味はない」というのは言い過ぎであり、また唐突で不自然でもある。
- ②→この「I do, too.」は、直前の男性の発言を受けて「I want to see the new Picasso exhibit, too.」の意味となり、また his work とはピカソの作品を指す。つまり、ピカソの作品が大好きな女性も新しいピカソの展示を見たいという応答は、直前の男性の発言に自然につながるので②が適切で、これが正解である。

**補足**

**exhibit** 「展示」

**check it out** 「してみる、チェックする」

(制作：松永尚也，日笠航希)

# 2015 年度 センター試験 本試験 英語リスニング

## 第3問

出題範囲	三つの会話とその話法，統計表を巡る対話の聞き取り
難易度	★★★★☆
所要時間	8分
傾向と対策	2015年度の第3問のAは，前年同様，短い対話に関する質問に答える問題である。いずれも読み上げられている文章は平易であるため，落ち着いて聞くことができれば解答は難しくないであろう。また，あらかじめ選択肢を読み，それに関する情報を注意して聞くことで正答率を上げた。問15では，コーヒーの量として14（fourteen）と40（forty）を聞き分ける場面があるので注意したい。 Bについては例年どおり，対話を聞いて統計表を埋める問題だ。放送される情報をもとに，落ち着いて順番に解答していけば得点できるはずだ。

### A

問14  正解は③

#### 読み上げ文

M: Where are you going in such a hurry?

W: I'm taking a DVD back to the rental shop.

M: I need to talk to you about our homework.

W: Sorry, but this has to be there before noon. I've got to run!

M: No problem. I'll call you later.

#### 読み上げ文訳

M: そんなに急いでどこに行こうとしているの？

W: DVDをレンタルショップに返しに行くところよ。

M: 僕たちの宿題に関する事で君に相談したいのだけど。

W: ごめんね，でもこのDVDを正午までに返さなければいけないの。急がなきゃ！

M: 大丈夫だよ。あとで君に電話するよ。

#### 問題文訳

女性はこれから何をしようとしているのか？

#### 解答選択肢訳

- ① 彼女のクラスメートに電話する。
- ② 彼女の宿題をする。
- ③ DVDを返す。

④ 映画を見る。

**解説**

女性の発言からわかるように、彼女はレンタルショップに行くところで、DVD を急いで返さなければならない状態にある。よって、③が正しい。

- ①→女性がクラスメートに電話するのではなく、男性が宿題のことにに関して、あとで女性に電話すると言っているのが不適切。
- ②→前述のとおり女性は DVD を返さなければならない、男性に持ちかけられた宿題の話をして2回目の発言で断っており、また男性があとで電話してくることから、宿題は今すぐやることではなく、不適切。
- ④→DVD をレンタルショップに返しに行くところと女性が発言しており、すでに DVD の映画は見終わっていると考えられるので正解ではない。

「I need to talk to you about our homework」は、直訳すると「私たちの宿題についてあなたに話す必要があります」となる。宿題に関して話す必要があるというので、宿題に関して何か聞きたい、何か相談したいと男性は思っていると考えられるので、「宿題について相談したい」あたりの意味として捉えるのがよいだろう。「this has to be there before noon」の this は前の女性の発言から DVD を、there はレンタルショップを指している。つまり直訳すると「DVD は正午前にレンタルショップにいないなければならない」となり、「正午までに DVD をレンタルショップに返さなければならない」という意味になる。また、「I've got to run」において、「have got to V」は「Vしなければならない」であり、「I've got to run」は「走らなければならない」という意味になる。走らなければならないほどの状況を表し、転じて「急いでいる、急がなければならない」という意味になっている。

**補足**

I've got to run 「急いでいる、急がなきゃ」

問 15 15 正解は③

**読み上げ文**

- W : This coffee is too strong!
- M : Really?
- W : Yeah, is the machine broken?
- M : No, it seems fine.
- W : What could the problem be?
- M : Hmm ... I don't know. I did what you told me to do.
- W : What exactly did you do?
- M : I put 40 grams of coffee for each cup.
- W : No, I said 14!

**読み上げ文訳**

W : このコーヒー濃すぎるわ！

- M: ほんとに？
- W: ええ，機械が故障しているのかしら？
- M: いや，問題なさそうだよ。
- W: 何が問題なのかしら？
- M: うーん…わからない。僕は君が言った通りにやったよ。
- W: つまり何をやったの？
- M: それぞれのカップにコーヒーを 40 グラムずつ入れたよ。
- W: 違う，私は 14 と言ったのよ！

### 問題文訳

男性は何を間違えたのか？

### 解答選択肢訳

- ① 彼はコーヒーの機械を壊した。
- ② 彼は誤った豆を選んだ。
- ③ 彼は指示を誤解した。
- ④ 彼はそれぞれのカップに 14 グラム使った。

### 解説

- ③→fourteen を forty と男性が聞き間違えたがゆえに，コーヒーを淹れるのに失敗しているので，女性の指示を誤解したという③が正解である。
- ①→男性の 2 回目の発言から，機械は問題ないようであり壊してはいないので不適切。
- ②→豆に関する情報が会話の中で見られないのでこれは正解ではない。
- ④→彼はそれぞれのカップには実際には 40 グラムを入れたと言っており，また 14 グラム入れるというのは女性の指示通りの操作となるので，不適切。

「This coffee is too strong の strong」は直訳すれば「強い」だが，コーヒーが強いというのはつまり「コーヒーが濃い」という意味でもあるのでこの場合の strong は濃いの意味で捉えるのがよい。「What could the problem be」は直訳すると「何が問題としてあり得るか」だが，つまりは「何が問題か」と聞いているのと同じである。What exactly はよく使う表現で，前の発言を受けて「具体的には，正確には，つまりどういう」など，さらに一歩踏み込んだ説明を要求するときに使われる。

数字の 14 と 40 の英語の聞き間違いは，よく見受けられる。fourteen は後ろの方の teen に，forty は前の for にアクセントがかかっているため，前と後ろのどちらに発音の重きがかかっているかを聞き分ければよい。

### 補足

direction 「方向，指示」

問 16 16 正解は①

## 読み上げ文

W : May I help you?

M : I left my glasses on the train yesterday.

W : On which train?

M : The four o'clock bound for Tokyo.

W : What do they look like?

M : They have round lenses with black frames.

W : Can you fill out this form? We'll contact you if someone brings them in.

## 読み上げ文訳

W : いかがなさいましたか？

M : 昨日電車で眼鏡を忘れたのです。

W : どの電車ですか？

M : 4 時の東京行きの電車です。

W : その眼鏡はどんな形をしていますか？

M : 丸いレンズで、黒いふちです。

W : この用紙を記入して頂けますか？ もし届きましたらご連絡します。

## 問題文訳

この会話がなされた最も可能性の高い場所はどこですか？

## 解答選択肢

- ① 遺失物取扱所で。
- ② トレーニングセンターで。
- ③ 眼鏡店の中で。
- ④ 文房具屋で。

## 解説

会話の内容から、男性は電車で眼鏡を忘れてしまい、女性が用紙を記入させるなどの対応をしていることなどから①と判断することができる。

②→training center の training は動詞 train 「訓練する」を用いた語であり、会話中に出てきた train 「電車」とは意味が異なる。

③→眼鏡を電車で忘れても眼鏡店に行くとは通常考えられず、なくしてしまった眼鏡が眼鏡店に届けられることもあまりないので、③は可能性が低く、適切ではない。

④→station 「駅」との引っ掛けで出されたのだろうが、stationery は文房具の意であり、stationery shop 「文房具店」はこの会話とはまったく関係ないので、不適切である。

「May I help you?」は店や受付などでよく使われる表現で、直訳すると「あなたの手伝いをさせてもらって

もいいですか？」で、口語的には「ご用件は何ですか」「いかがなさいましたか」「(店などで)何かお探ですか」などのように使われる。

「bound for A」は、電車や飛行機などでよく使われる表現で、「A 行き」という意味である。また、「bring A in」で「A を持ち込む」だが、遺失物取扱所に遺失物を持ち込むことはつまり「遺失物を遺失物取扱所に届ける」ということになる。

### 補足

form 「用紙」

May I help you? 「いかがなさいましたか、ご用件はなんですか、何かお探ですか」

lost and found 「遺失物取扱所」

## B

### 読み上げ文

W: What are you working on?

M: My presentation for next week.

W: Oh, it's about the London Paralympics.

M: Yeah. I made this chart showing the number of participants from each country and the number of medals they won. Great Britain had 294 athletes and won 120 medals.

W: Wow! How about countries with fewer athletes?

M: Well, Japan and Spain sent just over 130 athletes — Japan won 16 medals, and Spain, 42.

W: Spain and France had similar results, but France won three more medals.

M: Right. I'm surprised about Ukraine though. They sent only 17 more participants than Spain, but they won twice as many medals.

W: Interesting. France and Germany had almost the same number of athletes, but they didn't do as well as Ukraine.

M: Well, Germany did better than France.

W: Wow! They won 152 medals!

M: 152?

W: Oh, sorry. That's the number of participants. They got 66.

M: Anyway, this is what I'll talk about.

### 読み上げ文訳

W: 何に取り組んでいるの？

M: 来週のプレゼンだよ。

W: ああ、ロンドンパラリンピックについてなんだね。

M: そうだよ。それぞれの国からの参加者数と彼らが獲得したメダルの数を示すこの表を作ったんだ。英国は 294 の選手がいて 120 個のメダルを勝ち取ったよ。

W: おお! 選手の数それがそれより少ない国々ではどうなの?

M: そうだなあ, 日本とスペインがちょうど 130 人ちょっとの選手を派遣していて——日本は 16 個のメダル, スペインが 42 個だよ。

W: スペインとフランスは似たような結果だけど, フランスの方が 3 個多くメダルを獲得しているね。

M: そうだね。僕はウクライナに驚いているけどね。彼らはスペインよりも 17 人多くしか参加者を派遣していないけど, スペインに比べて 2 倍ものメダルを獲得しているよ。

W: 面白いわね。フランスとドイツもウクライナとほとんど同じ選手数なのに, ウクライナほど結果は良くなかったのね。

M: まあ, ドイツはフランスよりも良い結果を残しているね。

W: まあ! 彼らは 152 個のメダルを獲得しているわ!

M: 152?

W: あら, ごめんなさい。それは参加者の人数だね。彼らは 66 個のメダルを手に入れているわ。

M: とにかく, これが僕がプレゼンで話そうとしていることだよ。

2012 年ロンドンパラリンピックの結果

国	参加者	メダル数
英国	294	120
フランス	158	17
ドイツ	152	18
ウクライナ	150	19
カナダ	147	31
日本	135	16
スペイン	133	42

問 17  正解は③

問 18  正解は④

問 19  正解は⑥

**解説**

まず, 女性の 4 回目の発言からフランスはスペインよりも三つ多くメダルを獲得していることがわかる。スペインは 42 個なので, フランスは③の 45 個である。次に, 男性の 4 回目の発言からウクライナはスペインが獲得したメダルの数の 2 倍のメダルを手に入れているので, ウクライナのメダルの個数は 42 の 2 倍の 84 個であり, ⑥となる。

最後に、女性の6回目の発言で「They won 152 medals」とあり、They は直前の男性の発言を受けてドイツの選手のことを指している。しかし、この152という数字は参加者数と勘違いしたものであり、次の女性の発言で、ドイツのメダルの個数を66に訂正している。よって、ドイツに対する正解は④となる。

問題文自体は難しい内容ではないが、国名と数字が多用されており、女性の勘違い発言なども含まれているので、それぞれの国に関する話をしているときに数値関係をしっかり把握しながら聞くことが大切になる。

**補足**

athlete 「選手」

participant 「参加者」

(制作：松永尚也，日笠航希)

# 2015年度 センター試験 本試験 英語リスニング

## 第4問

出題範囲	四つのモノローグ、ヘレン・ケラーと秋田犬
難易度	★★★☆☆
所要時間	12分
傾向と対策	2015年度の第4問は、例年通りA、Bともに「放送で読み上げる英文に関する質問にストレートに回答する」という問題で、注意すべきポイントもほとんど同じだ。放送される問題文に登場する情報をメモしたり、記憶して整理しておくことが正解への近道である。あらかじめ問題文を読んでおいて、「何を答えなければならないのか」を頭の中にイメージして明確化しておくことで解答しやすいだろう。

### A

問 20  正解は②

#### 読み上げ文

In some countries, silver gifts are given for 25th wedding anniversaries and gold gifts for 50th anniversaries. But in the United Kingdom, there are also some traditional gifts given to celebrate other anniversaries. Perhaps people are not so familiar with them. For example, for 3rd anniversaries, leather gifts are usually given. Three years later, gifts containing sugar are appropriate. Six years after that, something made of silk is the expected gift. Some might be surprised to find out that diamonds are given not only for engagements, but also for 60th anniversaries.

#### 読み上げ文訳

いくつかの国で、25周年の結婚記念日に銀製の贈り物が贈られ、50周年の結婚記念日には金製の贈り物が贈られる。しかし、イギリスでは他の記念日を祝うために他のいくつかの伝統的な贈り物も贈られる。ひょっとすると、それらはあまり一般にはなじみがないものかもしれない。例えば、3周年記念には革製の贈り物が通常贈られる。3年後には、砂糖が含まれている贈り物が適切である。その6年後には、絹製品が贈り物として期待される。ダイヤモンドが婚約のために贈られるだけでなく、60周年記念にも贈られるということに驚く人がいるかもしれない。

#### 問題文訳

話者によれば、列挙された記念日のための贈り物の順番はどうなっているのか。

#### 解答選択肢訳

- |   |     |     |      |        |
|---|-----|-----|------|--------|
|   | 3周年 | 6周年 | 12周年 | 60周年   |
| ① | 革   | 絹   | 砂糖   | ダイヤモンド |
| ② | 革   | 砂糖  | 絹    | ダイヤモンド |

- ③ 砂糖 革 絹 銀  
 ④ 砂糖 絹 革 銀

**解説**

それぞれ、どんな贈り物が何周年の結婚記念日に贈られるかをしっかり聞き取る必要がある。まず第1文目で、銀製の贈り物は25周年の時に贈られるとあるので、③と④はこの時点で消去することができる。残る①と②はともに3周年に革とあり、これは第4文目と合致する。直後の第5文目で3周年の3年後、つまり6周年で、砂糖が含まれる贈り物がよいとあるので、6周年に砂糖とある②が正解となる。その直後の第6文目に、6周年の6年後、つまり12周年の際には絹製品の贈り物がよいとあり、②はこの部分もちゃんと合致している。ちなみに、選択肢にはないが金製品は50周年の記念日に贈り物として贈られることも述べられている。

問題文に anniversary が何度も出てきており、この単語の意味を知らない人にとっては聞き取りづらい内容であるかもしれないが、この単語を知らなくても、3rd や 25th など数字の部分に注意して聞き取り、さらにそれぞれの数字に対応する贈り物をしっかり聞き取れば、決して解けない問題ではないだろう。

**補足**

anniversary 「記念日」

traditional 「伝統的な」

engagement 「婚約」

appropriate 「適切な、ふさわしい」

leather 「革」

expected 「期待される、予期される」

silk 「絹」

wedding anniversary 「結婚記念日」

celebrate 「祝う」

**問 21** 21 **正解は④****読み上げ文**

Welcome to The Ocean Hotel. Our rooms are decorated in traditional French style, but you can use the latest technology, for example, wireless Internet. Every room offers a splendid ocean view, so you can see the sunset. Our hotel has Chinese, Japanese, and Italian restaurants on the top floor and three coffee shops on the first and second floors, so you can enjoy Asian and Western dishes. In front of the hotel we have an outdoor swimming pool next to the beach, and you can also enjoy an indoor swimming pool and an exercise room.

**読み上げ文訳**

オーシャン・ホテルへようこそ。私たちの部屋は伝統的なフランス様式に装飾されておりますが、無線インターネットのような最新の技術を使うことができます。すべての部屋で、素晴らしいオーシャンビューを提供しているので、日没を見ることができます。私たちのホテルには最上階に中華料理、和食、イタリアンのレストランがあり、1階と2階に3軒のコーヒESHOPPがあるの、アジアと西洋の料理を楽しむことができます。ホテルの前には、ビーチに隣接した屋外のプールがあり、また屋内のプールやジムで楽しむこともできます。

**問題文訳**

ホテルにあるのは以下のどれか？

## 解答選択肢訳

- ① 2階にあるイタリアンのレストラン。
- ② 日本式の部屋。
- ③ 日の出を眺めることができる部屋。
- ④ 二つのプール。

## 解説

ホテルに関する情報がたくさん話され、こんがらがってしまうかもしれないが、キーとなる要素を聞きながらしっかりメモしていこう。

②→第2文目で「Our rooms are decorated in traditional French style」とあり、部屋がフレンチスタイルつまりフランス様式であることがわかる。ここで②の日本式の部屋を消去することができる。このホテルで日本式が出てくるのは、日本料理のレストランだけである（第4文）。

③→第3文目には「Every room ~ so you can see the sunset」とある。問題文で太陽に関して述べられているのはここだけであり、sunset「日没」なのか sunrise「日の出」なのかを聞き分けられるかどうかである。ここをしっかりと聞き取れば、問題文で問われているのは、「日没」を見ることができることであり、「日の出」ではないので③も消去できる。

①→第4文目で異なる階に異なるグルメがあることが記述されている。慎重にこの店は何階、とメモしていけばよい。最初に「Chinese, Japanese, and Italian restaurants on the top floor」とあるので中華、日本、イタリア料理のレストランが最上階にあることをおさえる。そうすれば①も消去できる。その次に、「three coffee shops on the first and second floors」とあるので、1階と2階にあるのはレストランではなくコーヒESHOPであることがわかる。混同しないようにしよう。

残る④が正解となるが、この内容と合致する部分を見ていく。最後の文で「we have an outdoor swimming pool」とあり、ホテルにはアウトドアプール、つまり屋外プールがあるとわかる。次に「you can also enjoy an indoor pool and an exercise room」とあり、ホテルには他に屋内プールと exercise room「運動の部屋 = ジム」があるとわかる。少しややこしいが、合計二つのプールがあるから、④の選択肢と一致する。それぞれの文で大事な要素だけをメモしていけばよい。もし、直接解答にたどり着くことができなかつたら、メモした要素に基づいて消去法で答えを絞るのもよいだろう。

## 補足

splendid 「素晴らしい」

wireless 「無線の」

exercise room 「ジム」

問 22 22 正解は④

## 読み上げ文

Palau is a country in the Pacific. It became an independent republic on October 1, 1994. Palau's flag is similar to

Japan's because it features a single circle. However, the circle is yellow, and the background is blue. Blue is used to represent the ocean, which the nation depends on for food. Unlike the Japanese flag, the circle on Palau's flag is a little off-center. Instead of the sun, as on the Japanese flag, the circle represents the moon, which is traditionally thought to be important in the life cycle and customs of the people.

### 読み上げ文訳

パラオは太平洋にある国である。パラオは 1994 年の 10 月 1 日に独立共和国となった。パラオの国旗は日本のそれと似ている。なぜなら一つの円が国旗に描かれているからだ。しかしながら、その円は黄色であり、背景は青色である。青色は海を表すために使われているが、海はパラオが食料を得るために依存しているものだ。日本の国旗とは違い、パラオの国旗にある円は少し中心から離れている。日本の国旗にあるような太陽の代わりに、円は月を表しており、それは人々のライフサイクルや慣習の中で重要であると伝統的に考えられているものである。

### 問題文訳

二つの国旗に見られる共通の要素は何か？

### 解答選択肢訳

- ① 色。
- ② 意味。
- ③ 位置。
- ④ 形。

### 解説

問題文では国旗に関するさまざまな情報が語られており、聞き取れない単語があるかもしれないが、英文が流れる前に問題と選択肢にまず目を通しておいて、選択肢に関わる部分を集中的に聞き返すのがよいだろう。

第 3 文目で「Palau's flag is similar to Japan's」とあり、問題に関係のありそうな部分だと気づこう。では、何が similar かというと「because it features a single circle」とある。feature という単語がわからなくても、日本の国旗を思い浮かべながら「single circle」、つまり円が国旗の一つあると思えばよい。この時点で④が正解に近そうだと目をつけておくのもよい。その次の文の冒頭で However 「しかしながら」とあることから、次は similar ではない要素が来ると予想する。「the circle is yellow, and the background is blue」と言われており、円が黄色で背景が青色というのは日本の国旗とは異なるものであり、ここでパラオと日本の国旗は色が違うということで①を消去する。

第 5 文目で青色に関する意味が述べられているが、これが日本の国旗と意味が違うかどうか判断できなくても構わない。センター試験は必ず、問題文などではっきりと答えがわかるように記述されているからだ。第 6 文目の冒頭で「Unlike the Japanese flag」と言われており、ここでも日本の国旗と異なる点が述べられるのだろうと考え、注意して聞く。その直後に「the circle on Palau's flag is a little off-center」とある。off-の意味がわからない人もいるかもしれないが、center 「真ん中」という単語は聞き取ってほしい。日本の国旗では円が中心にあることを踏まえ、それとは unlike と言っているのが、circle は center にはないと考えるのが妥当である。よって③も消去できる。次の文で、「Instead of the sun, as on the Japanese flag」と話されるが、日本の国旗の真ん中の赤い円が

太陽を表していることは知っている人も多いことだろう。「Instead of」と言われているので、パラオの国旗にある円は太陽ではないと考えながら、「the circle represents the moon」と言われ、パラオの国旗の円は太陽ではなく月なのだとして理解できる。この時点で日本とパラオの国旗の円の意味の違いを断定できるので②も切り捨て、最初に目をつけていた④が正解であることにたどり着く。

全部を聞き取る必要はなく、文の冒頭で使われる however や unlike などのディスコースマーカーに注意しながら、選択肢にかかわる要素をしっかり聞き取ってこよう。

### 補足

**independent** 「独立の」

**republic** 「共和国」

**Pacific** 「太平洋」

**feature A** 「A の特徴がある、A を特色として持っている」

**represent** 「表す、象徴する」

**depend** 「頼る、依存する、当てにする」

**off A** 「A から離れている、A からずれている」

**custom** 「慣習」

**instead of A** 「A の代わりに」

## B

### 読み上げ文

Helen Keller, admired for her work on behalf of people with disabilities, visited Japan three times. She was unable to see or hear, but she was impressed with the kindness of the Japanese people and developed an appreciation of Japan and its culture.

She first came to Japan in 1937, when she was invited by the Japanese government to make a lecture tour throughout the country. While she was here, she was moved by the story about the faithful Akita dog, Hachiko, and wondered if she could have such a dog. Ichiro Ogasawara, a police officer in Akita City, kindly gave her one of his own puppies. She named this dog Kami.

She took Kami home with her, which made Kami the first Akita dog to go to the United States. In a letter to a friend, she called Kami an “angel in fur” and said that he was especially gentle and devoted. She loved this dog so much that she asked for another Akita dog, which was sent to her in 1939. This dog was Kami’s brother, and she called him Go-Go. Helen Keller’s dogs received a lot of attention in the United States, which helped to introduce Akita dogs as popular pets for Americans.

### 読み上げ文訳

ヘレン・ケラーは、障害を持った人々のための取り組みに対して称賛されているが、日本に3回訪れたことがある。彼女は見ることも聞くこともできないが、日本人の親切さに感銘を受け、日本とその文化に対し高く評価した。

彼女は1937年に初めて来日したが、その時彼女は日本政府に、国じゅうを回る講演のツアーを開いて欲しいということで招待されたのだった。日本にいる間、彼女は忠実な秋田犬、ハチ公に関する話を聞いて感動し、そのような犬を飼うことはできないかと考えた。秋田市の警官だった小笠原一郎が親切にも彼が飼っていた子犬のう

ちの一匹を彼女に譲った。彼女はこの犬をカミと名づけた。

彼女はカミと一緒に家に連れ帰り、それによってカミはアメリカに渡った最初の秋田犬となった。友達に宛てた手紙の中で、彼女はカミのことを「毛皮に包まれた天使」と表現し、カミは特におとなしく忠実であると言った。彼女はこの犬があまりにも好きだったので、秋田犬をもう一匹所望し、それは 1939 年に彼女のもとに届けられた。この犬はカミの兄弟であり、彼女はこの犬をゴー = ゴーと呼んだ。ヘレン・ケラーの犬はアメリカで大きな注目を浴び、アメリカ人に人気のペットとして秋田犬を紹介することに貢献した。

問 23 23 正解は②

問題文訳

なぜヘレン・ケラーは最初に日本に招待されたのか？

解答選択肢訳

- ① 障害者のための学校を設立するため。
- ② 日本中で講演をするため。
- ③ 日本の文化について学ぶため。
- ④ 小笠原一郎に会うため。

解説

ヘレン・ケラーと秋田犬に関するエピソードである。話される一つひとつのエピソードをしっかりと聞き取ることが大切となる。最初の部分はヘレン・ケラーの簡単な説明と日本に対する評価である。ここの部分は、あまり出題とは関係のない部分と言える。第 3 文目で「She first came to Japan in 1937」とあり、ここでの問いに関する部分だということをもっとおさえる。この直後「she was invited by the Japanese government to make a lecture tour throughout the country」という記述がある。ここから、ヘレン・ケラーは「lecture tour」をするために日本に来たのだと、理解できる。最初に日本に来た目的が、このようにはっきりと話されているので、正解は迷わず②を選びたい。他の選択肢も文章内で触れられているが、いずれも最初に日本に来た時の直接的な目的ではない。

問 24 24 正解は②

問題文訳

なぜヘレン・ケラーは秋田犬を欲しかったのか？

解答選択肢訳

- ① 柔らかい毛皮がついた犬が欲しかったから。
- ② ハチ公のような忠実な犬が欲しかったから。
- ③ 彼女の友達としておとなしい犬が欲しかったから。
- ④ 日本を旅行するための盲導犬が欲しかったから。

解説

ヘレン・ケラーと秋田犬の関係が最初に述べられているのは 4 文目で、「she was moved by the story about the

faithful Akita dog, Hachiko, and wondered if she could have such a dog」とある。ハチ公のエピソードを知っている方は多いと思うが、ヘレン・ケラーも「she was moved」つまりハチ公の話を聞いて感動した。その後、「wondered if she could have such a dog」と続く。〈A wonders if B〉はよく使われる表現で、「A は B ではないかと思う、A は B かどうかと思う」などという意味である。よって、この英文は「そのような犬を持つことができるかどうかと彼女は思った」つまり「そのような犬を飼うことはできないか」という意味になる。どんな犬かということ「the faithful Akita dog, Hachiko」である。faithful は「忠実な、信義の厚い」などの意味である。つまり、ハチ公のような忠実な秋田犬が欲しいとヘレン・ケラーは思ったのだ。このことから正解は②を選ぶことができる。

- ①→毛皮に関しては第7文目で彼女が飼っていた秋田犬、カミのことを「angel in fur」と表現しており、「soft fur」, 「柔らかい毛皮」をまとった犬が欲しかったから秋田犬を所望したわけではない。
- ③→ヘレン・ケラーが犬と友達になりたいという話は問題文に出てこないので不適切。
- ④→盲導犬に関する話は問題文に出てこないので不適切である。

問 25 25 正解は④

問題文訳

カミについて述べられたのは以下のどれか？

解答選択肢訳

- ① 彼はアメリカでは番犬だった。
- ② 彼は日本で訓練された警察犬だった。
- ③ 彼は小笠原一郎によって名前を付けられた。
- ④ 彼はアメリカにおける最初の秋田犬だった。

解説

問 25 は、ヘレン・ケラーが最初にもらった秋田犬、カミに関する問題である。文章後半で選択肢と関わる部分をしっかり聞き取ろう。第5文目で、小笠原一郎の名前が出てくる。彼は何をしたのかというと、「kindly gave her one of his own puppies」とある。puppy は「子犬」という意味である。つまり彼は秋田県の子犬を一匹ヘレン・ケラーに譲ったということだ。ここで、カミはこのヘレン・ケラーに譲られた時点では子犬であり、日本で「訓練された警察犬」であったとは考えられないので②は消去される。次に直後の一文で「She named this dog Kami」とあり、カミと名付けたのは She, つまりヘレン・ケラーであり小笠原一郎ではない。したがって、③も消去できる。第6文目でカミはヘレン・ケラーに連れ帰られ、「the first Akita dog to go to the United States」つまりアメリカに渡った最初の秋田犬であることが語られる。このことから、カミがアメリカにおける最初の秋田犬となるので、④が正解となる。①に関しては、問題文中で「guard dog」(番犬) について述べられている部分はないので不適切である。

英語リスニングの出題で、特にこのような長い文章ではまず選択肢に目を通し、単語やそれに関連する部分を、事実関係をしっかり把握しながらメモを取ることが大事だ。

補足

admire 「称賛する」

impress 「感銘を与える」

appreciation 「正当な評価, 感謝」

faithful 「忠実な」

puppy 「子犬」

especially 「特に」

gentle 「おとなしい, 優しい, 上品な」

devoted 「献身的な, 忠実な」

on behalf of A 「Aのために, Aの代わりに」

be moved by A 「Aによって感動する」

A wonder if B 「AがBではないかと思う, AがBかどうかと思う」

A makes B C 「AがBをCとする」

A ask for B 「AがBを求める」

(制作: 松永尚也, 日笠航希)